※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	音楽Ⅱ　Tutti＋（大修館）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「楽典」「鑑賞」の４つの分野を年間通して学習します。
・のびのびとした美しい声での歌唱、キーボードなどの新しい楽器の基礎技術の取得をめざし、アンサンブル等の課題へ積極的に取り組み、音楽Ⅰで学んだ内容をさらに深めます。芸術全般への幅広い興味を喚起し、独自の観点から物事を見る視点を育みます。
・学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシートの提出、出席等の平常点などの総合的な観点から評価します。
・音楽が、学校で学ぶだけのものではなく将来の学生たちの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

のびのびとした美しい声での歌唱、キーボードや新しい楽器の基礎技術の取得を目指し、アンサンブル等自由課題へ積極的に取り組む姿勢を養う。音楽の幅広い活動を通して、基本的な技術を習得し、創造的な表現と鑑賞の能力を身につける。音楽Ⅰの基礎を生かしてさらに深い芸術的素養を身に着ける。

① 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
② 歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持つ。
③ 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 4 5	基礎の楽典の復讐と発展。	音楽Ⅰで学習した音符の読み方(ト音記号及びヘ音記号)をすべての生徒が素早く読めるように復習し、コード名の理論や、調についての理解を深める。	a: 基本的な楽典の知識を理解し読譜、歌唱する際にそれらを応用できる。 b: :音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じ、音楽的な構造の美しさや、和声感を感じることができる。 c: 音楽のもつ様々要素を心身ともに感じられるように主体的に取り組もうとしている。	課題提出・観察	観察・演奏の聴取	観察
6 7	歌唱を通して発声を学び、合唱の楽しさを感じる。	【歌唱】 世界の合唱曲、ポピュラー音楽の歌唱、外国語での歌唱。 【鑑賞】 教材の CD を聞き歌い方や表現を参考にし、表現の創意工夫する	a: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b: :音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うかを工夫している。歌詞を大切にしその意図を感じ取っているか。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもってのびのびとした歌唱法で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察	演奏の聴取	観察・発表
8	ギターに挑戦！	【器楽】 クラシックギターのコード奏を発展させ、tab譜の読み方を学ぶ。	a:ギターの基礎的な奏法の特徴を理解し演奏のための基本的な技術を身に着けている。 b:旋律とギターの奏法が伴って曲の雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:ギター特有の楽器としての魅力を感じて、主体的に取り組もうとしている。	観察	演奏の聴取	観察・発表
後期 9 10	歴史に沿って鑑賞しよう	【鑑賞】 ラヴェル「ボレロ」 ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」 YOASOBI バックナンバー　等	a:それぞれの音楽が作られた国や郷土、時代背景を理解している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理 解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:様々なジャンルの音楽に興味を持ち主体的に取り組もうとしている。	観察	観察・ワークシート	観察
11 12	木琴・小太鼓・ピアノ等幅広い楽器を使いより高度なアンサンブルを楽しもう	【器楽】 2～4 重奏に挑戦。 異種楽器間のアンサンブルの楽しさを感じる。 楽器の特性を理解して、美しいハーモニーを作り出す。	a:楽器の特性や、取り扱いを理解しアンサンブルする上での技術的音楽的課題を解決できるテクニックを身に着けている。 b:音楽を形づくっているハーモニーや心情を感じ、演奏において自分なりに工夫して表現しようとしている。 C:アンサンブルに興味を持ち主体的に取り組もうとしている。	観察	演奏の聴取	観察・発表
1 2	自由発表を通して自身の音楽を表現しよう	【自由発表】 ピアノ連弾 合唱 器楽アンサンブル ダンス　等	a: 自信の興味のある楽器や歌などの基本的な技術を身に着けている。 b:曲目にふさわしい音色や表現を工夫して演奏している。 c:自由に音楽をプログラミングしたり、発表する中において自身の音楽的興味に気づき、主体的に取り組もうとしている。	観察	観察・ワークシート	観察・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度